

疫 学 部

第54回日本寄生虫学会大会，昭和60年4月，東京，包虫症の免疫学的診断について：佐藤秀男，熊谷 満

第54回日本寄生虫学会大会，昭和60年4月，東京，日本産ネズミ類の *Heligmosomoides* 属線虫について：浅川満彦*，八木欣平，横山良秀*，高尾善則**，米田 豊**，福本真一郎*，大林正士*** (*酪農大，**久留米大，***北大獣医)

第54回日本寄生虫学会大会，昭和60年4月，東京，多包条虫 *Echinococcus multilocularis* に対するネコの感受性：神谷正男*，ウイ・ホンキエン*，奥祐三郎*，大林正士* (*北大獣医)，八木欣平

第54回日本寄生虫学会大会，昭和60年4月，東京，北海道根室半島における野鼠の多包虫感染調査—高率に認められた多包虫感染野鼠の検討—：八木欣平，高橋健一，服部畦作，石下真通，近藤憲久* (*根室市教委)

第54回日本寄生虫学会大会，昭和60年4月，東京，北海道におけるエキノコックス症の動物疫学的調査：服部畦作

衛生微生物技術協議会第6回研究会，昭和60年6月，大阪，インフルエンザウイルスの新しい迅速診断をめざして：古屋宏二

第14回ダニ類研究会，昭和60年9月，札幌，野鼠寄生ツツガムシ相と抗ツツガムシ病リケッチャ抗体保有状況について：小松真一*，福本真一郎* (*酪農大獣医)，高橋健一

第32回日本衛生動物学会，北日本支部大会，昭和60年10月，秋田，アナタカラダニの屋内発生例：服部畦作，高橋健一，藤村忠則* (*北海道防疫サービス)

第32回日本寄生虫学会，北日本支部大会，昭和60年10月，秋田，ハツカネズミの多包虫自然感染例について：高橋健一，八木欣平，石下真通，服部畦作，長澤次郎*，工藤 勝* (*釧路保健所)

第32回日本寄生虫学会，北日本支部大会，昭和60年10月，秋田，根室半島におけるキタキツネの消化管寄生蠕虫，特に多包条虫についての検討：八木欣平，高橋健一，服部畦作，近藤憲久* (*根室市教委)，奥祐三郎** (*北大獣医)，伊藤 守*** (**実中研)

第32回日本寄生虫学会，北日本支部大会，昭和60年10月，秋田，実験的二次多包虫症の研究5，多包虫シストのカルシウム(Ca)蓄積と宿主コントラットにおける骨粗鬆症の発生：川瀬史郎，田沢悌二郎，新井純理

第37回北海道公衆衛生学会、昭和60年11月、苫小牧、北海道における先天性代謝異常症および先天性甲状腺機能低下症のマス・スクリーニングについて：市原 侃、林 玲子、仲谷敦子、鬼原芳子、橋本ゆかり、中野かおり、前田典子、小林有実子、桜田教夫、熊谷 満

第21回日本ウイルス学会支部総会、昭和60年11月、札幌、1984年および1985年の北海道において流行したインフルエンザについて：野呂新一、沢田春美、古屋宏二、国府谷よし子、由布久美子、桜田教夫、佐伯義人^{*}(^{**}札幌市豊平区保健所)

第27回日本消化器外科学会、昭和61年2月、米子市 肝多包虫症に対するモノクロナル抗体の作製と血清学的診断への応用：伊藤美夫^{*}、佐藤裕二^{*}、高木知敬^{*}、佐藤直樹^{*}、宇根良衛^{*}、内野純一^{*}(^{**}北大第一外科)、野島孝之^{**}(^{**}北大第二病理)、熊谷 満、佐藤秀男

食品科学部

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢市、臨床材料からの *Acinetobacter* の検索—選択分離培地および生物型について：長谷川伸作

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢市、山し子の Lipoxygenase 活性阻害物質：西澤 信、藤本康夫^{*}(^{**}理化学研究所)

第39回日本栄養食糧学会総会、昭和60年4月、東京、食事およびみそ汁より摂取される無機質量—北海道における都市在住の食生活改善推進員について：山本勇夫、松田和子、佐藤千鶴子、本間 寛、熊谷 満、村山ケイ子^{*} (*北海道衛生部)

第39回日本栄養食糧学会総会、昭和60年4月、東京、北海道におけるみそ汁の食塩濃度とその摂取パターンについて：松田和子、山本勇夫、佐藤千鶴子、熊谷 満、村山ケイ子^{*} (*北海道衛生部)

第20回日本循環器協議会総会シンポジウム、昭和60年6月、札幌市、北海道における循環器疾患死亡の疫学的検討：本間 寛

日本農芸化学会、昭和60年度大会、昭和60年7月、札幌市、ケルセン分解菌の分離とその分解能：長谷川伸作、小川 廣、金島弘恭

昭和60年度日本植物病理学会北海道部会研究会、昭和60年7月、札幌市、アズキ立枯病の発生消長：長谷川伸作、児玉不二雄^{*}、五十嵐文雄^{*}、赤井 純^{*} (*北海道立中央農試)

昭和60年度日本植物病理学会北海道部会研究会, 昭和60年7月, 札幌市, アズキ根圈及び根面から分離した *Pseudomonas* sp.による立枯症発病抑制効果: 長谷川伸作, 金島弘恭, 児玉不二雄*, 五十嵐文雄*, 赤井 純* (*北海道立中央農試)

XIIIth International Congress of Nutrition, August, 1985, Brighton, England, The Assessment of the Community Nutrition Education by the Dietary Salt: Hiroshi Honma, Isao Yamamoto, Chizuko Sato, Kazuko Matsuda, Keiko Murayama and Michiko Hara* (*Tennsi Woman's College)

日本生薬学会第32年会, 昭和60年10月, 岡山市, 大黄の多成分分析—産地による成分含量の比較: 西澤 信, 山岸 喬, 柏田良樹*, 野中源一郎*, 西岡五夫* (*九州大学薬学部)

第37回北海道公衆衛生学会, 昭和60年11月, 苫小牧市, 天然色素の分析法に関する研究: 西澤 信, 長南隆夫, 堀 義宏

第37回北海道公衆衛生学会, 昭和60年11月, 苫小牧市, 市販食品中の天然色素の使用実態調査: 長南隆夫, 堀 義宏, 西澤 信

第37回北海道公衆衛生学会, 昭和60年11月, 苫小牧市, 臨床分離 *Acinetobacter calcoaceticus* の薬剤感受性について: 長谷川伸作

食品微生物研究会第6回学術講演会, 昭和60年11月, 神戸市, 1982—1985年北海道内で発生したウエルシュ菌による食中毒事例の概要と分離ウエルシュ菌の性状について: 砂川紘之, 梅村康子, 武士甲一, 亀山邦夫, 安藤芳明, 木村 栄*(*網走保健所)

第32回北海道感染症研究会例会, 昭和60年11月, 札幌市, *Acinetobacter* 選択分離培地の検討: 長谷川伸作

第26回日本肺癌学会総会, 昭和60年11月, 仙台市, 肺癌患者における血清セレン, ビタミンAおよびビタミンE値: 荒谷義和*, 宮本 宏*, 高岡和夫*, 伊藤正美*, 磯部 宏*, 堂坂弘俊*, 川上義和* (*北海道大学医学部第一内科) 山本勇夫

第26回日本肺癌学会総会, 昭和60年11月, 仙台市, 肺癌患者の家族における血清セレン, ビタミンAおよびE値: 宮本 宏*, 荒谷義和*, 高岡和夫*, 伊藤正美*, 磯部 宏*, 堂坂弘俊*, 川上義和* (*北海道大学医学部第一内科) 山本勇夫

第35回北海道栄養食糧学会, 昭和60年11月, 札幌市, 郷土料理中のコレステロールおよび脂肪酸量: 山本勇夫, 松田和子, 山本愛子*, 山口敦子* (*天使女子短大)

第35回北海道栄養食糧学会、昭和60年11月、札幌市、冬期市販トマトの栄養成分について：松田和子、山本勇夫

第35回北海道栄養食糧学会、昭和60年11月、札幌市、北海道におけるコレステロールおよび脂肪酸の1日摂取量の推定：
佐藤千鶴子、山本勇夫、松田和子

第59回日本細菌学会総会、昭和61年3月、名古屋市、ポツリヌスC及びD型菌溶原ファージの核酸：砂川紘之、井上勝
弘

薬 学 部

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢、家庭用品に使用されている化学物質に関する研究(第1報)一繊維製品中の抗菌防臭加工剤の分析一：桂 英二、兼俊明夫、小川 廣、姉帯正樹、金島弘恭

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢、家庭用品に使用されている化学物質に関する研究(第2報)一有機塩素系抗菌剤イルガサンDP300の塩素系漂白剤処理時における挙動一：兼俊明夫、桂 英二、小川 廣、金島弘恭

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢、逆転写酵素阻害活性を有する生薬成分の研究(1)、タンニン類の逆転写酵素阻害：垣内信子*、服部征雄*、難波恒雄*(*富山医科大学)、山岸喬、西澤信、奥田拓男**(**岡山大学薬学部)

日本薬学会第105年会、昭和60年4月、金沢、川骨のタンニン：石松 真*、田中 隆*、野中源一郎*、西岡五夫*(*九州大学薬学部)、西澤 信、山岸喬

日本生薬学会北海道支部第9回例会、昭和60年6月、札幌、北海道産赤類生薬の化学的品質評価：姉帯正樹、山岸喬

第18回日本薬剤師会学術大会、昭和60年9月、岩手、合板製家具から放散されるホルムアルデヒドについて：渡辺幸彦*、
兼俊明夫、小川 廣、桂 英二、金島弘恭、宍戸滋*(*北海道衛生部薬務課)

第32回日本生薬学会、昭和60年10月、岡山、大黄の多成分分析(その3)産地による成分含量の比較：西澤信、山岸喬、柏田良樹*、野中源一郎*、西岡五夫*(*九州大学薬学部)

第2回和漢薬医学会、昭和60年10月、京都、栽培生薬の品質と栽培にかかる諸問題について：山岸喬

第37回北海道公衆衛生学会、昭和60年11月、苫小牧、化粧品に含まれる植物成分の分析(その1)ローション中のキダチアロエ成分アロエニンの定量：中野道晴、山岸喬、高橋哲夫、金島弘恭

第37回北海道公衆衛生学会、昭和60年11月、苫小牧、薄層クロマトグラフィー／Flame Ionization Detector 法による
抗生素質の分析（第2報）一牛の胆汁および尿中のカナマイシンの簡易検出法一：斎藤富保、金島弘恭、中野道晴

生 活 科 学 部

第55回日本衛生学会総会、昭和60年4月、熊本、ラット腎臓中の重金属濃度について：内野栄治

日本農芸化学会、昭和60年度大会、1985年7月、札幌、高蛋白レベル高リジン含量オオムギ (Hiproly) カルスの器官再分化と植物体再生について：加藤芳伸、長谷川忠男*、鈴木隆雄*、藤井太朗** (*東京農大) (**国立遺伝学研究所)

第28回日本放射線影響学会第28回大会、昭和60年10月、奈良、無機ヒ素化合物の助変異原作用について—修復、複製、
変異原性について一：奥井登代、藤原美定* (*神戸大医)

第2回ヒ素研究会、昭和60年11月、静岡、海藻中の水溶性ヒ素化合物とその含有パターン：神 和夫、林 隆章、多賀光彦* (*北大理)

日本分析化学会北海道支部1986年冬季研究発表会、昭和61年2月、札幌、ジチゾン-トリプチルホスフィンオキシドによる
協同抽出を利用したコバルト(II) の予備濃縮：伊藤八十男、川本 博*、赤岩英夫* (*群馬大工)

日本植物生理学会、1986年度会、第26回シンポジウム、1986年3月、仙台、オーキシンを含まない培地で培養した Hiproly
オオムギカルスにおけるスペルミジン及びスペルミンの生合成：加藤芳伸、長谷川忠男*、鈴木隆雄*、藤井太朗** (*東京
農大) (**国立遺伝学研究所)